

処理場管理Ⅱ 10日間

1. 対象者 下水道の維持管理業務において、5年以上の実務経験を有する方又は同程度の技術を有する方で、公務員および民間事業者を対象とする。
2. 目 標 下水道法第22条に定める処理場及びポンプ場の維持管理資格者として業務に従事することができる。(本研修修了者は、下水道法に定める維持管理業務の資格取得に必要な実務経験年数が短縮される特例が認められています。)
3. 研修開始日 11月5日(水) 10:00 開始予定
4. 研修修了日 11月14日(金) 15:30 修了予定
5. 受講料
(円・税込) 239,800
6. 募集開始 7月22日(火)
7. 募集終了 8月22日(金)
8. 会場 戸田研修センター

9. 標準カリキュラム

研修日	講義	時 間	内 容
1日目	開講式	10:00 ~ 10:30	開講式及びオリエンテーション
	教科内容の説明	10:30 ~ 11:00	研修教科内容の説明
	処理場維持管理の概要	11:00 ~ 12:30	処理場維持管理の概要について解説
	ディスカッション課題の事前検討	13:30 ~ 14:50	ディスカッション課題の内容発表と質疑
	処理場等の実務関連法規	15:00 ~ 16:30	下水処理場等の維持管理関連法規及び環境関連法規の解説
2日目	設備の管理と保全	9:30 ~ 10:50	処理場等の維持管理の現状と、問題点及びその対策、施設の保守保全の計画と運用について解説
	水質管理	11:00 ~ 12:30	処理場における水質管理の実際と異常時対策
	事業場排水対策	13:30 ~ 15:00	
	汚泥管理	15:00 ~ 16:30	処理場における汚泥管理の実際と異常時対策
3日目	電気設備の基礎と管理	9:30 ~ 10:50	受電設備、配電設備、計装設備等の電気設備の基礎と管理の基礎知識について解説
	管きよの維持管理	11:00 ~ 12:30	下水管きよの維持管理の必要性とその対策
	水質トラブル対応	13:30 ~ 16:30	水質悪化原因の追求とその対策等の事例研究
6日目	設備トラブル対応	9:30 ~ 12:30	設備のトラブルを事例に基づいて、原因の追求とその対策の研究
	制御回路組み立て実習	13:30 ~ 17:00	電気回路及びシーケンス制御の基礎及び演習。

7日目	ポンプ実習(B)	9:30	～	16:30	ポンプ性能曲線の作成とその評価の仕方及び分解組立て実習
	水質分析とデータ解析(A)				実下水、活性汚泥の分析とデータ解析
8日目	ポンプ実習(A)	9:30	～	16:30	ポンプ性能曲線の作成とその評価の仕方及び分解組立て実習
	水質分析とデータ解析(B)				実下水、活性汚泥の分析とデータ解析
9日目	処理施設運用事例の研究	9:30	～	12:30	処理場管理運営の実例を研究する
	施設研修	13:30	～	16:30	実処理場の管理運営の実態について学習
10日目	ディスカッション	9:30	～	12:30	研修生から提起された処理場管理に関する疑問点、問題点について討議
	効果測定	13:30	～	15:00	研修効果を測定するテスト
	修了式	15:00	～	15:30	

10. その他

- ・ 研修は全寮制となりますので、宿泊される場合、研修期間中は全て宿泊いただきます。
但し通勤による研修受講も可能です。その場合には「通勤による研修受講者希望申請書」をメールにてご提出ください。
申請書はJS下水道研修のホームページ>「研修申込の手続き・書類ダウンロード」からダウンロードください。
- ・ 宿泊料の詳細についてはJS下水道研修のホームページ>「戸田研修に関する費用」ページに記載されております。
- ・ 前泊および後泊はできません。
- ・ お問い合わせは下水道事業支援センター（TEL 048-422-6657）へお願いいたします。
- ・ 上記は標準的なカリキュラムであり、実施カリキュラムは予告なく変更する場合があります。
- ・ 処理場の維持管理を委託する場合に法律上定められている、必要な知識等についても解説を行います。
- ・ 開講日(受付9:00～、授業開始10:00～)、修了日(修了式～15:30)の日程は通常と異なりますのでご注意ください。